

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立瓜破小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、学校教育目標を「ありのままの自分が受け入れられ、安心し、心満たされる居場所づくりを通して、子どもも大人も成長できる学校をめざす」とし、大阪市教育振興基本計画に掲げられた3つの最重要目標に沿って教育実践を進めてきた。特に、本校の課題である「学力向上」「生活指導」の両輪が円滑に機能することで、豊かな学びや心の育成につながるという学校教育目標の理念に基づき、これまで研鑽を重ねてきている。

【安全・安心な教育の推進】

「いじめについて考える日」の取り組みや道徳科での学習等を通じて、児童のいじめに対する理解は進んだ。各種調査やアンケートでも「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合はとても高い。しかし、具体的に「いじめとは何か」を理解できていない児童もおり、無自覚のままいじめにつながる行為をしている実態が少なからず見られる。今後も、「いじめの定義」を含めた指導を継続し、いじめという行為を絶対に許さない意識をより一層高めていく。

不登校に関する取り組みとしては、児童や保護者に寄り添い、家庭訪問や電話連絡等で学校との関わりが希薄にならないよう支援を続けてきている。また、学級担任だけでなく生活指導支援員などの校内人材やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの外部人材・関係機関等とも連携し、登校に向けた取り組みを粘り強く続けている。そのため、少しずつではあるが改善の兆しも見られた。今後も引き続き、児童や家庭が孤立しないよう、ケースに応じた見守りや支援を行っていく。

「瓜破小学校安心ルール」を指導の基盤として活用し、教職員の間で一貫した指導ができてきている。しかし、ルールを理解していない児童もいるため、学年や学級の実態に応じた指導を繰り返し行い、ルールの徹底を図っていく。

このように、学校は児童の安全と成長を促進するために、いじめ対策や不登校支援を行い、指導方法や内容の改善を続けている。今後も、児童一人一人の実態に応じた指導を工夫し、進めていく方針を継続していく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学力向上については、算数科に焦点を当て校内研究や研修に取り組んできた。学力向上支援チーム事業・重点支援のサポートを受け、放課後学習の実施や学びコラボレーター・学びサポーターの学習支援等により、算数科においては低位層児童の底上げにつながった。令和7年度に関しては、「小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる」に対し複数学年で目標を達成できた（1学年が現状維持）。しかしながら、本校は令和8年度より前述の重点支援の施策も打ち切られるため、学力の定着には依然として課題も大きい。朝学習や子どもとの日の取り組みなど、日常的な学習活動において工夫や改善などの見直しを行う必要がある。

体力向上については、令和7年度の目標『小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を71%以上にする。』を達成できていない(67.3%)。児童の実態

をふまえ、目標設定基準の見直しや子どもがいきいきと活動に取り組めるような指導方法の工夫・改善等に着手していく。また、児童が運動する機会を確保するため、時間と場所の提供も必要だと考える。

朝食については、学校だよりやほけんだより、えいようだより等での啓発活動により一定の成果を上げているが、小学校学力経年調査等において市平均と比較して朝食を毎日食べている児童の割合は低い。この点についても、地域や家庭の実態を踏まえた上で、さらに効果的な啓発方法や支援策を検討したい。

【学びを支える教育環境の充実】

授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数は令和7年度末（2月末時点）で目標の50%に到達した。特に、12月以降の月間利用率は80%を超えるようになってきており、児童が実際に端末を活用する機会が増えていることを示している。学習者用端末を利用した授業（パワーポイントやスカイメニューを使った意見交換）等も行われているが、今後もさらに学習者用端末の利用の定義に幅を持たせ、実態に即した評価を行う必要がある。

教員の時間外勤務は昨年度とあまり変わらず、約25時間となっており校種別平均を3時間程度超えている。週1回のゆとりの日の設定により定時退勤を目指してはいるが、勤務時間の改善が実感できていないという点から、業務量や時間配分の見直し、個々の教職員の意識の向上等が必要であることを示唆している。「勤務時間と業務量が合っていない」といった教員の実感から、さらに効率的な業務運営が必要であり、教員の負担軽減に向けた継続的な対策が必要である。

読書活動においては、区内共通のひらちゃん読書ノートの活用や図書委員会、学校司書及びボランティア等の読書啓発・読み聞かせ等の取り組みの結果、昨年度の達成目標『小学校学力経年調査において「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%にする。』に対して62%と若干の上回りを達成しているが、学年によってに差が見られる。今後は、読書活動を学校全体で組織的に推進し、学年の実態に応じた内容を提供することで、さらに効果的な読書推進につながると考えられる。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和11年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。（令和7年度：76.9%）

○令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（令和7年度：75.7%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。（令和8年度新設）

○令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86% 以上にする。（令和 7 年度：82.0%）

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 11 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。（令和 8 年度新設）

○時間外勤務時間が年 720 時間を超えて実施する教員を毎年ゼロにする。（令和 8 年度新設）

○令和 11 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。（令和 7 年度：62%）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上にする。(令和 7 年度 : 76.9%)

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77%以上にする。(令和 7 年度 : 75.7%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(令和 8 年度新設)

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。(令和 7 年度 : 82.0%)

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 66%以上にする。(令和 8 年度新設)

○時間外勤務時間について、年 720 時間を超えて実施する教員をゼロにする。(令和 8 年度新設)

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。(令和 7 年度 : 62%)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立瓜破小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1: 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。(令和7年度: 76.9%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(令和7年度: 75.7%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○児童が困ったときに、教職員集団全員で困り感を受け止め、丁寧に指導にあたる。</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。(令和7年度: 54.6%)</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○瓜破小学校安心ルールを指導のよりどころにして、児童が安心して学校生活を過ごすことができるように指導を重ねていく。</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査・校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。</p>	
<p>取組内容③ 【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>○多様な特性への相互理解を深め、一人ひとりの自尊感情を育てていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞の実施 ・各種体験活動の実施 ・多様な性の学習の実施 ・いのちの学習の実施 <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査・校内調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立瓜破小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2：未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(令和8年度新設)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(令和7年度: 82.0%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○朝学習等を活用した補充指導を行い、基礎学力の定着と向上を図る。</p> <p>○「伝え合う力の育成」を目指し、国語科を中心に授業改善に取り組み、教員の授業力向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>①国語科の授業研究を各学年で年1回以上実施する。</p> <p>②年度末の校内調査(児童アンケート)における「授業はわかりやすい」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を年度当初より増加させる。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>○運動を楽しみながら行える学習活動や取り組みを学期に一回以上行う。</p>	
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査・校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立瓜破小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3：学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。 (令和8年度新設)</p> <p>○時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。 (令和8年度新設)</p> <p>○小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。 (令和7年度：62%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向6、教育DXの推進】</p> <p>○学習活動のあらゆる場面で学習者用端末を効果的に活用し、「わかった・できた」が実感できるよう指導を工夫する。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査・校内調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>○教員が児童の前で健康で生き生きと働くことができ、児童一人ひとりに向き合う時間を確保するように取り組む。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>ゆとりの日(18時セット)を週に1回設定・実施し、教員の1か月あたりの平均時間外勤務を月25時間以下とする。 (令和8年2月時点:25時間09分)</p>	
<p>取組内容③ 【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <p>○学校図書館、読み聞かせボランティア活動、読書ノートを活用することで児童が読書に親しむ環境の充実を図る。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>①「ひらちゃん読書ノート」の達成者率を各学年65%以上にする。</p> <p>②小学校学力経年調査・校内調査において「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立瓜破小学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校の運営についての意見

--